

図書館の

東京大学附属図書館報
Vol.43 No.4 2004.9

4

PDF版：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/kanpo/>
附属図書館ホームページ：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

目 次

法学部法制史資料室資料紹介（学内所蔵特殊コレクションシリーズ 19）	法学部法制史資料室 口石久美子	75
図書館（室）ニュース		77
図書室に眠っている個人資料（ぶっくぼすと 11）	地震研究所火山噴火予知研究推進センター助手 吉本充宏	78
Web of Knowledge について	情報基盤センター学術情報リテラシー係	80
Let's try e-learning !! オンライン・チュートリアル公開のお知らせ	情報基盤センター学術情報リテラシー係	83
平成 15 年度附属図書館統計表		84
9 月～10 月のデータベース定期講習会のお知らせ	情報基盤センター学術情報リテラシー係	86
オープンキャンパス 2004	総合図書館・駒場図書館	87

学内所蔵特殊コレクションシリーズ No.19

法学部法制史資料室資料紹介

法学部法制史資料室 口石 久美子

法制史資料室は法学部研究室図書室の一部ですが、独立の書庫と閲覧スペースを備え、法学部 4 号館地下 1 階にあります。

特に コレクションとして学内外に知られるような資料はありませんが、宮崎道三郎先生以来、中田薫先生、石井良助先生など歴代の法制史講座担当教授が収集した資料数千点を所蔵しています。

それでは法制史資料室所蔵資料の概要をご紹介します。

古代・中世

古代・中世資料の主要なものとしては、まず寺院文書として、参鉢寺文書（さんこじもんじょ）、城東寺文書（じょうとうじもんじょ）、さらに京都の東寺に伝存した東寺百合文書（とうじひやくごうもんじょ、

国宝）の写真帳（A4判）一揃があります。

次に、東大寺領の庄園の関係文書として、周防国与田保文書（すおうのくによだのほもんじょ）、美濃国茜部庄文書（みののくにあかなべのしょうもんじょ）があります。

武家法制資料としては、御前落居記録（ごぜんらっきょきろく）、御前落居奉書（ごぜんらっきょほうしょ）がありますが、これらは室町幕府第六代将軍足利義教がおこなった訴訟案件の決裁に関わる文書で、中期室町幕府の法制資料として最も重要なものとされています。また、長禄元（1457）年に室町幕府によって発せられた雑務沙汰関係の条々（写）である長禄御禁制条目（ちょうろくごきんせいじょうもく）、文亀元（1501）年に細川政元によって発せられた条目（写）である文亀御禁制条目（ぶんき

ごきんせいじょうもく)は、『中世法制史料集』(岩波書店刊)の中に翻刻・収録されています。

この時期の資料として最後にあげておかなければならないのは、甲斐国の戦国大名武田信玄によって制定された分国法度である甲州法度之次第(こうしゅうはつどのしだい)一巻です。これは、信玄が領国支配のための基本法として天文16(1547)年に発布したもので、もと26箇条であったものが後に55箇条に増補されたと考えられています。当室で所蔵しているのは天正8(1580)年に書写されたもので、55箇条からなります。

近世

法制史資料室に所蔵されている資料の大部分は近世文書で、幕府や諸藩の法令・裁判関係記録の原本・写本類が中心です。

まず江戸幕府の法としては、幕府が編纂した法令集である御触書、裁判・行政上の事案処理規準や先例を提示した幕府の内規集ともいべき御定書、幕府の刑事裁判判例集である御仕置例類集、農政に関する幕府の官撰資料集である公裁録、公裁筆記、江戸町奉行所関係の指令・判例などを老中・評定所との間の伺・指令のやりとり等も含めて分類編纂した記録である撰要類集、幕府役人への問合せと回答を集め法実務上の参考資料として編集した問答集などがあります。このうち、御當家令條(慶長2(1597)年 - 元禄9(1696)年)、武家嚴制録(慶長3(1598)年 - 元禄16(1703)年)は近世初期の江戸幕府法令集として重要であり、また三奉行問答は、享保から弘化にかけて130年間1500件余の問答を収録した代表的な問答集の一つです。

諸藩の法令としては、厚生雑誌(伊予松山藩)、島方郡方式(高崎藩)、大成有司心得(佐野藩)、北藩秘鑑(金沢藩)などがあげられます。

さらに、奉行所や代官所の記録、相州村々御用留、相州藤沢宿外五十一ヶ村組合御取締御改革御用留や関宿御用留覚帳のような御用留、株仲間や問屋仲間の記録、検地帳、五人組帳、宗門改帳など、広い意味での法制資料も多数所蔵しています。

また、法制資料に限られず、関東甲信越を中心とする全国の地方史資料を所蔵しており、なかでも京阪文書(けいはんもんじょ)は京都・大阪関係の町方・村方文書5000点余を集めたものです。その他、離縁状・借金証文・土地証文等の一紙物文書約600点、武鑑、古地図、さらには文書以外の法制資料として、高札、十手、袖がらみなどの刑具も当室の資料の一部です。

近世文書のうち、二つの貴重資料について触れておきましょう。

・琉球評定所記録

琉球王国の政治・行政組織である首里王府の中枢機関とされていた評定所で記録・保管されてきた文書の筆写本です。原本は琉球処分(1879年)の際に内務省に接收され、関東大震災のためほとんどが焼失しました。近世沖縄史研究の基本的資料です。

・英国大使館文書

幕末から明治初年にかけて江戸幕府・明治政府から駐日英国公使等に送られた外交文書のうち日本語原本の部分を集めたもので、日英外交史研究上の貴重な資料です。昭和26(1951)年に英国大使館から払い下げられ古紙として廃棄される寸前に、東京大学法学部と早稲田大学図書館に引き取られて滅失を免れました。(その経緯は早稲田大学図書館月報 6 および早稲田大学図書館紀要第1号に詳述されています)

近代立法関係資料

近代の資料としては、明治以降日本の近代法典編纂事業を担った法典調査会関係の資料があります。

まず、法典調査会叢書(日本学術振興会

謄写本)は法典調査会の審議録をタイプ謄写したもので、東京大学はじめ全国8ヶ所に配付・保管されています。

法典調査会穂積陳重博士関係文書は、明治から大正にかけ法典調査会起草委員として民法典編纂事業に参加し、さらに商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法などの立法事業において中心的役割を果たした本学部教授・穂積陳重博士(1855 - 1926年)のもとに保管されていた立法関係資料を整理したもので、日本の近代立法史研究の基礎的資料です。

その他、憲法、民法、商法、法理学、羅馬法など明治期に本学部でおこなわれた講義を当時の学生が筆記した講義録も所蔵し

ています。

法制史資料室所蔵資料の中には国書総目録に掲載されていないものも含まれており、また現在のところOPACでは検索できませんので、所蔵状況については直接法制史資料室へお問い合わせください。なお利用方法については法学部のホームページ・法学部ライブラリー(<http://www.j.u-tokyo.ac.jp/lib/>)もご覧ください。

電話・Fax : 03 - 5841 - 3166

e-mail : lhoseisi @ j.u-tokyo.ac.jp

(くちいし くみこ)

図書館(室)ニュース

「Engel」学外公開のお知らせ

経済学部図書館

学内限定であった経済学関係のWeb情報への入口と経済学部所蔵のデジタル資料が見られる「Engel」(エンゲル)を、7月より学外にも公開致しました。これによりご自宅からの利用が可能になりましたので、お知らせ致します。

URL : <http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/engel/index.html>

常設展『東京大学の歴史とキャンパス』の開催について

附属図書館展示委員会

総合図書館では、7月26日から10月末までの予定で標記の常設展を3階ホールにて開催しています。

赤門の由来を伝える絵画資料『松之栄』、大学創生期にあたる明治初期の様子を伝える『東京第一大学区開成学校開業乃図』の2点を拡大パネル化しました。東京大学の沿革史を図示しながら、キャンパスに関わる事項についても文献を紹介しています。

この展示会を通じて、より多くの方々に東京大学の歴史と本郷キャンパスについて知っていただければ幸いです。

図書室に眠っている個人資料

地震研究所火山噴火予知研究推進センター助手 吉本 充宏

地震研究所図書室(以下図書室と呼ぶ)には普段、文献の検索や雑誌の閲覧に行くのが主であるが、先日、ある知り合いの研究者に頼まれて桜島の大正噴火の映像を探しに図書室のビデオ庫に立ち寄った。図書室の係の人と地震研究所にある火山の映像の話をしていると、映像以外にも個人の研究者から寄贈された古い火山の写真や資料がたくさんあることを教えられた。さっそく、それらの写真をめくっていると、自分の歩いたことのある火山の写真が出てきた。懐かしい感じを覚えながらページを進めていくと自分の研究している火山の写真が何枚も出てくるのではないかと見覚えのある風景を眺めていると、その中の数枚の写真に目がとまった。その写真は北海道の駒ヶ岳火山の1929年以前に撮影されたと考えられる山頂の火口の様子を写したものであった。

私は火山の噴火履歴の研究をしている。学生時代から北海道駒ヶ岳火山(以下、駒ヶ岳)という国内でも最も活動的な火山の一つについての研究を行ってきた。活動的な火山において、その噴火履歴や活動様式を明らかにすることは、近い将来予想される噴火の推移や規模を予測する上で重要なことである。また噴火予測を行う上では、多様な噴火現象に対応するために一つでも多くの噴火事例について活動の詳細を明らかにする必要がある。

少し駒ヶ岳についての話をすると、駒ヶ岳は、数万年前から活動している火山で、ここ400年間くらい最も活発に活動している。この400年間で、火山の風下側半径8km以内で厚さ1mほども軽石がつもるような爆発的な噴火を4回も経験している。そのほか小規模な噴火も多数起っている。2000年の噴火で記憶に新しい対岸の有珠山が400年間に10回の噴火を行っているの

にくらべ、駒ヶ岳の噴火は、回数で言えば半分と少ないが、その規模は大きく、本格的な噴火が起これば被害も甚大なものとなる特徴を持っている。ここ数年はごく小規模な噴火を10回ほど繰り返しており、活動が活発化している。しかし、直接人間に被害が出そうな噴火は1929年以降80年近く起こっていない。

古記録と地質学的な研究から駒ヶ岳では1929年以前に1640年、1694年、1856年と3度にわたって大きな噴火が起っていることが明らかにされている。駒ヶ岳の噴火は北海道という土地柄もあって、1800年代の噴火であってもあまり詳細に記録が残っていない。写真に関しても1929年以前のもは非常に少なく数が限られているのが現状である。1640年、1694年、1856年については古文書などに記載されている噴火の記録を探しによく図書館に行ったものである。



南麓の大沼から望む1918年当時の駒ヶ岳

今回、図書室で偶然みつけた写真は、1856年以降1929年以前に撮られた写真で、1929年の噴火前の状況を知る上で重要なものである。これまでも論文に掲載されている写真は2枚ほどあったが、あまり写りがよくなく、細部まで写っているものはない。今回の写真は、火口の中に小規模な溶岩ドームが写ったもので、非常に鮮明で細部までよく写っている。しかも論文には

載っていなかったカットが何枚もあった。これまで駒ヶ岳の噴火の歴史の中で溶岩ドームの記録が残っているのは1856年の噴火だけで、その記録も論文に掲載されていた前述の2枚の写真からの情報のみである。このドームも1929年の噴火によって跡形なく破壊され、現在ではそのかけすら探すことができない。そのため、溶岩ドームについて詳しく調べるためには今回みつかった写真だけが頼りなのである。今回の写真から、溶岩ドームの上には1856年以降の小噴火による火山灰が堆積し、その上面には植生が回復していることから、1918年当時溶岩ドームはかなり冷えていたと推測できる。また、溶岩ドームは、1856年の大噴火の後、火口底を押し上げて成長したことが解ってきた。さらに詳しく写真判読すれば、1929年噴火以前の火口の形状や旧地形、1929年以前の小噴火の規模などいろいろなことが解ってくると考えている。

火山の噴火は台風や大雨などの気象災害に比べて、発生回数が非常に少ない。しかも最近起こった事例については、非常によく記録されているが、一昔前になるとなかなか記録に残っていないものである。雲仙普賢岳1990 - 95年噴火や三宅島2000年噴火では山頂の形が大きく変化したが、それ以前の写真や映像といったものでも、カメラやビデオがこれだけ普及している現在では、比較的容易に入手できるであろう。しかし、100年前の噴火のものとなるとそうもいかない。仮に撮られていたとしても非常に少ないし、論文などに公表されているものはこれらのごく一部であり、公表されたもの以外は個人資料として埋没している。当時は重要と思われず、論文に掲載されなかった写真の中には現在の知識で見直すと新たな発見があるものもあるかもしれない。しかし、こうした個人資料は、運良く残っていたとしても教授からその弟子へまたその弟子へと引き継がれるうちに、撮った場所や日付、さらには撮った山さえも分からなくなっていることがある。実際に今回図

書室で見たものは、駒ヶ岳とは別の火山のものとして記載されていた。このような個人の研究者によって寄贈された貴重な資料が、他にもいろいろな大学に残っているのではないだろうか。しかし、このような写真や映像などは雑誌や書籍と異なってタイトルがあるわけでもなくまた統一したシステムで管理されていないため、検索することが困難であり、活用できるような現状ではないのではないだろうか。寄贈されている資料についてはまだよいが、寄贈されていない貴重な資料がいろいろな研究室に膨大に残されているであろうと思われる。私の所属する研究室にも引退された諸先生方の写真や映像、スケッチなどの個人資料が段ボール数箱分残っている。最近これらの一部の資料を整理していたときに三宅島1940年噴火の16mm フィルムの映像を見つけた。この映像もやはり報告書や論文などでは読み取ることのできなかった噴火の様子が写っており、当時の噴火の状況を知るものとして非常に重要なものであった。このような映像や写真が図書館に寄贈され、またこれまでである隠れた資料が、検索可能な資料として公開されれば、火山噴火の理解や噴火予知に大いに役立つのではないだろうか。また火山だけでなく、自然災害に関わる研究に関しても、このような個人資料が有益な情報となるであろうと考えられる。今後、このような個人資料の検索可能なシステムが構築されることを期待したい。



北側から撮影された1918年当時の溶岩ドーム

(よしもと みつひろ)

Web of Knowledge について

情報基盤センター学術情報リテラシー係

1. Web of Knowledge

Web of Knowledge は、引用リンクをベースとした学術情報プラットフォームです。東京大学では、2004年4月より以下のデータベースを Web of Knowledge 上で利用することができるようになりました。

- ・ Web of Science (引用文献データベース)
- ・ BIOSIS Previews (生命科学系データベース)
- ・ Journal Citation Reports on the Web (学術雑誌の引用統計指標)

Web of Knowledge <http://www.isiknowledge.com>

Web of Knowledge [トップページ]

ユーザー登録画面へ

ユーザー登録済の場合はメールアドレスとパスワードを入力して、SIGN IN !

Signed In : SIGN IN すると表示される

・ユーザー登録設定の変更
・保存した検索式名表示
・Citation Alerts 表示

個々のデータベースへのアクセス

Cross Search 簡略検索

< Web of Knowledge の機能 >

1. **ユーザー登録** ユーザー登録を行うと自分専用の画面を作成できます。
2. **検索式保存** 作成した検索式を Web of Knowledge サーバやローカルのパソコンに保存することができます。
3. **アラート設定** サーバに保存された検索式を定期的に行き結果がメール送信される Search Alert、ある論文が引用されたらメール送信される Citation Alert を利用できます。

4. データベース統合検索 (Cross Search) Web of Science、BIOSIS Previews 及び 無料データベース PubMed、Agricola 等の統合検索が可能です。

2. Web of Science

Web of Science は主要な学術雑誌 (約 9 000 誌) の論文情報・引用情報を収録する引用文献データベースです (1970 年以降)。自然科学・社会科学・人文科学の 3 つのデータベースからなり、毎週約 25 000 件のデータが追加されます。

通常のキーワード検索に加え、引用論文に着目した検索 ——「この論文がどんな論文を引用しているか」「この論文はどんな論文に引用されているか」そして「同じ論文を引用している論文にどのようなものがあるか」というような文献調査—— ができます。

Web of Science [検索画面]

< 利用のメリット >

1. 引用の流れを追うことで、研究の流れがわかります。
2. 通常のキーワード検索による文献調査では見逃していた論文が見つかります。
3. あるテーマに関して、最多被引用文献 (最も影響力のある文献) がわかります。
4. 異なる分野・学際領域分野での応用を知ることができます。

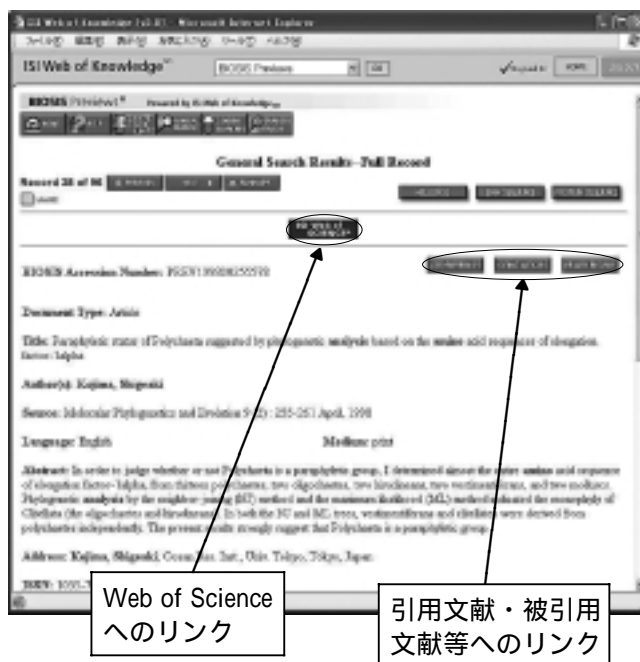
3 . BIOSIS Previews

BIOSIS Previews は世界 90 カ国以上の雑誌論文 (約 5 200 誌) レビュー論文、会議録や図書、特許等の書誌情報を収録する生命科学・生物医学分野の包括的なデータベースです (1985 年以降)。毎週約 10 000 件のデータが追加されます。

Web of Knowledge に搭載されたことにより、Web of Science との共有文献については、引用文献・被引用文献・引用文献を共有する文献 (関連文献) へのリンクが利用できるようになりました。

2004 年末には統計解析機能の追加等のアップグレードが行われる予定です。

BIOSIS Previews [詳細表示画面]



4 . Journal Citation Reports on the Web

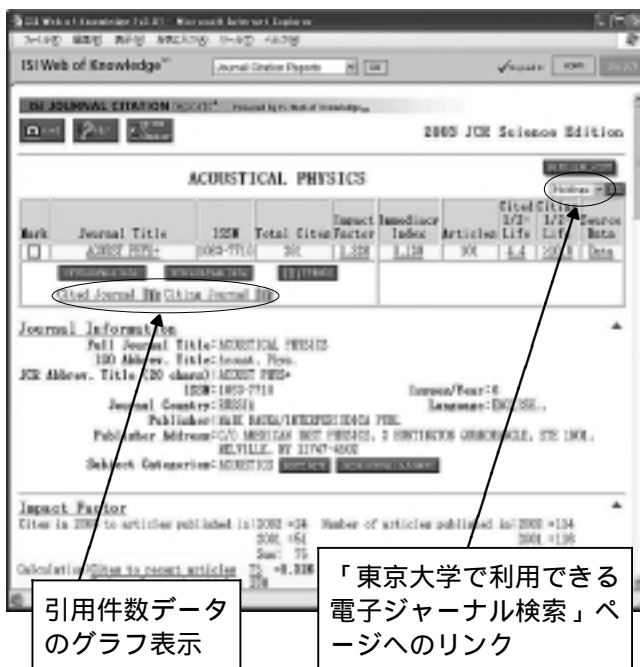
Journal Citation Reports は学術雑誌の文献間の引用・被引用関係を分析したもので、その雑誌の論文が一年間に引用された総回数や "Impact Factor" などを調べることができます。"Impact Factor" とはその雑誌に掲載された「平均的な論文」がその対象年中にどれくらい頻繁に引用されたかを示す尺度で、雑誌評価の一つの指標として利用されています。

Science Edition (約 6 000 誌) と Social Sciences Edition (約 1 700 誌) が毎年発行され、現在は 2001 年版から 2003 年版を利用できます。

ますます使いやすくなったデータベースを皆さんの研究・学習にお役立てください。

情報基盤センター学術情報リテラシー係では Web of Science の定期講習会を開催しています。p.86 のお知らせをご覧くださいのうえ是非ご参加ください。

Journal Citation Reports [詳細表示画面]



Let 's try e-learning !! オンライン・チュートリアル公開のお知らせ

情報基盤センター学術情報リテラシー係

情報基盤センター図書館電子化部門では、このたび情報リテラシー教育支援の一環として、文献調査の方法を自習形式で学べるオンライン・チュートリアルを作成いたしました。

URL:<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/tutorial/>

Flash を利用したアニメーションと音声ナレーションにより、学術情報を収集するための基本的スキルを楽しみながら習得できる e-learning 教材です。学内・学外を問わずいつでもどこでも、「必要なひとが必要なときに必要なことを学べる」便利なシステムですので、ぜひご活用ください。

コンテンツは以下の6種類で、それぞれ日本語版、英語版を公開しています。

文献調査のお手軽ガイド

データベース講習会 OPAC 編 / FELIX 編

文献調査の達人を目指せ！ 電子ジャーナル 基礎編 / 応用編 / 利用上の注意編

コンテンツの途中からでも再生可能なので、文献検索や電子ジャーナルの利用に困ったとき、その場ですぐ参照することができます。また、スケジュールの都合でデータベース定期講習会 (<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/koshukai/> 参照) に参加できない方にも最適の教材です。

情報基盤センターでは、利便性の高い情報リテラシー教材として、今後もオンライン・チュートリアルのコンテンツの充実をはかっていく予定です。皆さんに積極的にご利用いただくと共にチュートリアルのサイトに用意してあるアンケートにて、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。



GACoS (<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/index.html>) メニューの " オンライン・チュートリアル " から利用できます。

お問い合わせ：情報基盤センター学術情報リテラシー係 literacy@lib.u-tokyo.ac.jp

平成 15 年度東京大学附属図書館統計表

	職員数*		蔵書数					
	定員内 (人)	定員外 (人)	図書			逐次刊行物		
			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)
大学院法学政治学研究科・法学部研究室	14	4	226,331	372,434	598,765	1,418	1,778	3,196
外国法文献センター	4	0	0	71,777	71,777	0	79	79
近代日本法政史料センター	3	3	53,841	799	54,640	6,891	29	6,920
医学図書館	10	16	103,584	204,888	308,472	3,121	4,940	8,061
大学院工学系研究科・工学部図書室(15室)	15	16	143,757	238,020	381,777	3,291	4,123	7,414
大学院人文社会系研究科・文学部図書室	8	23	432,340	484,354	916,694	6,248	3,982	10,230
大学院理学系研究科・理学部図書室(6室)	9	8	37,819	197,890	235,709	2,289	4,989	7,278
農学生命科学図書館	13	10	219,382	165,652	385,034	6,171	5,466	11,637
経済学部図書館	12	19	404,775	298,683	703,458	7,102	4,814	11,916
駒場図書館(総合文化研究科図書館・自然科学図書室を含む)	18	21	537,966	533,755	1,071,721	1,913	2,635	4,548
アメリカ太平洋地域研究センター	0	3	7,472	59,053	66,525	148	934	1,082
大学院教育学研究科・教育学部図書室	4	2	61,746	57,482	119,228	2,259	945	3,204
薬学図書館	2	1	8,947	27,942	36,889	247	287	534
大学院数理学研究科図書室	3	3	12,810	127,021	139,831	149	1,302	1,451
大学院新領域創成科学研究科図書室**	-	-	5,304	2,277	7,581	6	58	64
大学院情報学環・学際情報学府図書室	4	2	56,936	44,126	101,062	596	447	1,043
社会情報研究資料センター		2	12,413	4,996	17,409	0	0	0
大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻図書室	1	0	3,456	16,170	19,626	247	314	561
医科学研究所図書室	2	1	9,666	54,943	64,609	320	962	1,282
地震研究所図書室	3	1	19,000	30,638	49,638	823	885	1,708
東洋文化研究所図書室	6	4	462,229	152,871	615,100	3,754	1,853	5,607
社会科学研究所図書室	9	1	182,879	124,990	307,869	4,085	3,537	7,622
生産技術研究所図書室	3	0	60,726	98,057	158,783	947	1,283	2,230
史料編纂所図書室	9	7	471,289	13,426	484,715	2,142	180	2,322
分子細胞生物学研究所図書室	1	2	1,077	19,983	21,060	27	417	444
宇宙線研究所図書室	0	1	784	18,766	19,550	22	218	240
物性研究所図書室	2	1	4,660	53,629	58,289	85	586	671
海洋研究所図書室	2	1	8,363	29,946	38,309	1,064	845	1,909
情報基盤センター情報資料室	1	0	4,594	3,867	8,461	63	88	151
総合研究博物館図書室	0	1	2,968	2,096	5,064	2,248	668	2,916
アイソトープ総合センター図書室	0	2	1,086	1,013	2,099	35	32	67
先端科学技術研究センター図書室	2	2	19,170	54,993	74,163	267	1,272	1,539
部局図書館(室)計	160	157	3,577,370	3,566,537	7,143,907	57,978	49,948	107,926
総合図書館	44	24	725,925	473,048	1,198,973	11,828	14,200	26,028
柏図書館***	6	2	-	-	-	-	-	-
総計	210	183	4,303,295	4,039,585	8,342,880	69,806	64,148	133,954

* 職員数のみ平成 16 年 5 月 1 日現在(情報基盤センター・総合研究博物館は兼任)。

** 平成 16 年度から柏図書館に統合。

*** 平成 16 年 2 月竣工。5 月より部分開館。

参考(平成 14 年度総計)	216	167	4,166,808	3,945,527	8,112,335	67,427	60,309	127,736
----------------	-----	-----	-----------	-----------	-----------	--------	--------	---------

平成 16 年 3 月 31 日現在*

資料費 総額 (千円)	受入資料数								館外貸出 (冊)	相互利用 (文献複写)	
	図 書				逐次刊行物					受 付 (件)	依 頼 (件)
	和 書 (冊)	洋 書 (冊)	合 計 (冊)	(内購入)	和 文 (種)	欧 文 (種)	合 計 (種)	(内購入)			
159,339	6,585	4,194	10,779	6,094	728	1,033	1,761	1,248	0	1,193	201
39,865	0	1,636	1,636	1,203	0	79	79	79	0	102	3
1,785	85	1	86	1	0	0	0	0	0	361	0
98,124	1,995	2,904	4,899	684	870	646	1,516	753	17,717	14,034	7,056
138,270	2,047	2,946	4,993	3,910	1,434	984	2,418	1,425	34,178	0	1,654
160,825	9,295	8,180	17,475	10,719	817	1,091	1,908	1,275	13,776	1,657	729
109,021	963	3,303	4,266	850	832	1,308	2,140	658	11,503	77	345
111,794	2,958	2,074	5,032	2,825	1,953	1,769	3,722	1,660	23,389	32,916	1,588
73,852	7,053	3,081	10,134	3,921	682	463	1,145	532	27,406	1,042	263
187,691	37,441	21,647	59,088	8,770	1,800	1,757	3,557	2,013	108,856	1,870	1,988
13,730	597	1,416	2,013	1,257	43	121	164	93	3,580	0	0
18,780	1,330	1,137	2,467	504	930	308	1,238	457	12,989	2,461	467
22,433	139	585	724	74	103	122	225	116	2,161	44	279
70,353	180	2,695	2,875	1,260	34	613	647	356	5,622	679	158
11,053	863	684	1,547	1,011	0	39	39	39	107	0	114
9,081	1,198	795	1,993	661	194	146	340	192	5,516	768	49
12,752	140	299	439	439	0	0	0	0	0	0	0
19,997	401	1,702	2,103	1,728	94	172	266	247	2,433	0	22
34,477	44	1,193	1,237	144	11	138	149	127	4,991	432	394
21,116	266	359	625	74	463	748	1,211	177	1,274	121	39
66,396	10,008	4,318	14,326	8,629	1,351	320	1,671	886	236	522	30
27,948	3,126	1,912	5,038	1,639	994	507	1,501	828	11,939	559	38
38,250	246	266	512	77	432	419	851	390	1,765	960	2,721
39,419	5,710	246	5,956	1,455	794	15	809	90	0	282	9
1,358	0	201	201	0	172	30	202	3	215	0	93
31,971	12	157	169	119	15	81	96	90	214	6	1
62,972	112	1,216	1,328	221	38	175	213	200	785	110	43
24,424	139	528	667	51	736	453	1,189	191	1,621	649	210
6,273	59	89	148	0	29	48	77	68	52	0	0
26	154	8	162	1	544	99	643	0	0	0	0
701	24	8	32	32	5	3	8	5	15	0	0
3,858	296	263	559	311	15	7	22	10	820	206	1,602
1,617,934	93,466	70,043	163,509	58,664	16,113	13,694	29,807	14,208	293,160	61,051	20,096
116,850	14,002	3,854	17,856	10,892	2,991	744	3,735	327	231,998	9,390	0
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,734,784	107,468	73,897	181,365	69,556	19,104	14,438	33,542	14,535	525,158	70,441	20,096

「平成 16 年度大学図書館実態調査」回答より)

1,779,995	62,293	68,653	130,946	74,868	21,498	16,209	37,707	15,882	397,259	68,362	25,073
-----------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------

9月～10月のデータベース定期講習会のお知らせ

英語編も
好評開催中!!

情報基盤センター-学術情報リテラシー係

会場：総合図書館 1階 メディアプラザ 講習会コーナー

定員：各回 12名です。(予約は不要です。時間までに会場へ直接集合してください。)

入門編 <i>Introductory Course</i>	授業で指定された文献や参考文献リストに記載された文献の所在調査のテクニックを習得することを目的とします。OPACなど基本的なデータベースを使った実習を中心に、効率的な文献の探し方を紹介します。
FELIX編	雑誌記事索引、SwetScan、PCIの3つのデータベースが統合検索できる目次情報検索システムFELIXを用いて、文献を調査し入手するまでの方法を検索実習を行いながら紹介します。
Web of Science編	引用索引データベース Web of Science の検索実習を中心に、文献調査方法と電子ジャーナルの利用について紹介します。
電子ジャーナル編 <i>Electronic Journals</i>	基本的な電子ジャーナルの利用方法や利用上の注意点から、代表的な出版社が提供する電子ジャーナルシステムを用いた効率的な文献検索方法まで、実践演習を行いながら紹介します。

スケジュール (2004年9月～10月)

ご都合の良い時間帯を選んでどうぞご参加ください。(11:00-12:00、15:00-16:00、18:00-19:00)

月	火	水	木	金
8 / 30	8 / 31	9 / 1	9 / 2 15:00-16:00 電子ジャーナル	9 / 3
9 / 6 英語編 15:00-16:00 入門	9 / 7 11:00-12:00 Web of Science	9 / 8	9 / 9	9 / 10
9 / 13	9 / 14	9 / 15 18:00-19:00 入門	9 / 16	9 / 17
9 / 20 休日	9 / 21	9 / 22 休館日	9 / 23 休日	9 / 24 11:00-12:00 FELIX
9 / 27 15:00-16:00 Web of Science	9 / 28 英語編 11:00-12:00 FELIX	9 / 29	9 / 30	10 / 1
10 / 4	10 / 5 18:00-19:00 電子ジャーナル	10 / 6	10 / 7	10 / 8
10 / 11 休日	10 / 12	10 / 13	10 / 14	10 / 15 15:00-16:00 入門
10 / 18	10 / 19	10 / 20 英語編 11:00-12:00 電子ジャーナル	10 / 21 18:00-19:00 Web of Science	10 / 22
10 / 25	10 / 26	10 / 27 15:00-16:00 FELIX	10 / 28 休館日	10 / 29

ご要望に応じた内容で行う出張講習会、個人向け講習会も実施しております。ぜひご利用ください。

お問い合わせ先：情報基盤センター-学術情報リテラシー係(内線 22649)
literacy@lib.u-tokyo.ac.jp / <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/koshukai>

オープンキャンパス 2004

8月2日(月)と3日(火)の2日間、本郷キャンパス、駒場キャンパス等で東京大学オープンキャンパスが催されました。この催しは、主に高校生を対象とし、本学の教育・研究の一端に直接触れてもらう機会を提供するため、毎年行なわれているものです。総合図書館と駒場図書館でも、オープンキャンパスの企画の一環として、多くの方の見学を受け入れました。両図書館での状況について報告します。

総合図書館

総合図書館見学は、8月2日(月)に実施された研究所施設見学コースの中の文系コースに位置づけられました。あらかじめこのコースに申し込んでいた方147名に、抽選漏れや当日直接来られた方329名を加えた計476名が参加しました。

参加者は、大玄関から入館した後、館内の順路に従って、1階の参考室、メディアプラザIから大階段を上がり、3階のホール、閲覧室を巡り、再び1階に戻って新聞コーナー、洋雑誌閲覧室を見学しました。学習・研究に勤しむ学生たちの姿を目の当たりにして、大学図書館の知的な雰囲気が感じられたのではないのでしょうか。

また、ロックフェラーの手紙や南葵文庫の扁額など、図書館の歴史を物語る文物の説明に耳を傾け、常設展「東京大学の歴史とキャンパス」の展示資料に興味深くのぞきこむ参加者も多く見受けられました。

年々、参加者の層が高校生だけでなく、一般市民などにも広がりつつあります。総合図書館では通常の開館日にオープンキャンパス見学者を受け入れているため、今後どの程度まで拡大できるか、検討課題となりそうです。

今回は実施に当たって、ジュニアTAの学部学生に引率・立会い等の協力をいただきました。



駒場図書館

8月3日(火)駒場キャンパスにおいて、第2回目のオープンキャンパスが行われ、当日のプログラムのひとつとして駒場図書館見学を実施しました。

今回のオープンキャンパスでは、ジュニア TA による参加者への案内が特徴で、駒場図書館担当の4名のジュニア TA は、図書館の利用法や大学生活について参加者が質問しやすいように工夫しながら、積極的に声を掛けていくなど大活躍でした。

当日の入館者数は、駒場キャンパスの参加者総数の半数を超える326名で、駒場図書館の特徴である東西両壁面と天井をおおうガラス窓と5階から3階までの吹き抜けからなる「光の回廊」を楽しみ、たくさんの開架図書に囲まれて、大学生活の気分を味わっている様子でした。



『図書館の窓』へのご意見・ご感想をお寄せください。

kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp

編集室 だより

そろそろお散歩をするのにも気持ちのよい季節となりました。ところでキャンパスを歩いていて、この木は何だろうと思ったことはありませんか。そんな時は『東京大学本郷キャンパスの樹木：東大構内樹木調査結果報告書』（東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻編、2003）が役立ちます。これは構内のどこにどんな木があり、どんな状態かを一本一本詳細に調べたものです。総合図書館や農学生命科学図書館など学内の図書館（室）でも所蔵していますのでどうぞご利用下さい。（森松）

東京大学附属図書館報“図書館の窓” Vol. 43 No. 4(通巻 418号) 2004年9月1日発行

発行人 笹川郁夫 編集委員 委員長・高橋 努 副委員長・佐藤千春

委員・石川真樹・羽野敦子・梅沢耕助・森松富美子・胡内奈都子・石川一樹

東京大学附属図書館発行 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話 03(5841)2612